

地方整備局の事務所課長の6級枠増える 出張所長も6級定数が26%増と大幅に

R3年度とR2年度の級別定数の比較

《全体》		(地方整備局 港湾空港部含む)				
ポスト	級	7級	6級	5級	4級	3級
副所長	H30	25	550	22	0	0
	H31	26	552	23	0	0
	R2	28	554	29	0	0
	R3	30	551	35	0	0
	R2R3増減	2	-3	6	0	0
課長	H30	0	198	1139	460	0
	H31	0	198	1143	460	0
	R2	0	198	1152	456	0
	R3	0	213	1135	457	0
	R2R3増減	0	15	-17	1	0
出張所長	H30	0	57	336	239	0
	H31	0	57	330	234	0
	R2	0	57	323	232	0
	R3	0	72	321	214	0
	R2R3増減	0	15	-2	-18	0

R2年度 → R3年度

副所長 7級 28人 → 30人

課長 6級 198人 → 213人

出張所長 6級 57人 → 72人

課長、出張所長の6級定数は、私たちの長年の運動により、令和3年度に大幅増が実現しました。

人事院のホームページに級別定数等に関する内閣総理大臣への意見が1月18日に掲載されました。この資料から令和3年度の級別定数について一覧表にし、事務所副所長の7級、課長の6級、出張所長の6級定数がどうなっているのか確認を行いました。令和3年度の課長、出張所長の6級定数が大幅に増えることがわかりました。私たちの運動が大きな成果となりました。

増えた枠を有効に活用するため、退職1年半前の昇格から2年前の要求を行っています。